

平成27年度 予算審議から

一般会計



議会費・総務費

質疑

- ① 新しくなった広報について、意見の把握状況は？
- ② 広報アドバイザーなどの外部人材の活用を問う。
- ③ 総合教育会議の詳細と、協議すべき内容を問う。
- ④ 老朽化した公共施設の耐震化対応を問う。
- ⑤ 中学生自転車安全運転教室の取り組みを問う。
- ⑥ 選挙の投票区の増加に伴う具体的な変更点は？
- ⑦ 差し押さえ禁止財産と納税相談の対応方針を問う。
- ⑧ 市職員研修委託料の予算増の理由は？

民生費

質疑

- ① 認知症カフェの取り組みを問う。
- ② 認知症高齢者支援での家族の負担軽減を問う。
- ③ 親の子育て力向上支援で医師会などとの連携は？
- ④ 駅前ミニ子育て応援施設の事業内容は？
- ⑤ ひきこもり対策事業の取り組みと課題を問う。
- ⑥ 児童虐待防止相談員予算を計上しない理由は？
- ⑦ 生活保護の相談窓口体制を問う。
- ⑧ 施設予約システムを使用出来なかった例は？

衛生費・労働費

質疑

- ① マイクロ小水力発電可能性調査の展開を問う。
- ② ごみゼロプラン策定と今後の減量策を問う。
- ③ ごみ処理広域化について、住民との意見交換会で反対意見はなかったと言うが、反対署名の事実をどのように受け止めるのか？
- ④ 健康サポートルーム輝の課題は？
- ⑤ がん検診等事業経費の取り組みについて問う。
- ⑥ 新生児・妊婦訪問指導の委託化で充実する点は？

農業費・商工費・土木費・消防費

質疑

- ① 歩きたくなるまちづくり計画を広げる考えは？
- ② 工業地域の跡地開発のルール作りについて問う。
- ③ 商業の活性化、商店街の再生について問う。
- ④ 木造住宅耐震・改修工事補助金の使われ方は？
- ⑤ 「政策空き家」とは、どのような性格のものか？
- ⑥ セツ塚公園は、どのような公園になるのか？
- ⑦ 遊び場の地域管理と指定管理の違いは？
- ⑧ 南平駅前整備は、なぜ行き詰まったのか？

教育費・公債費・諸支出金・予備費

質疑

- ① 高校生奨学金不支給の人に国・都の補助があるか？
- ② 都の放射線量検査補助金打ち切り後の対応は？
- ③ オリンピック教育推進事業は、子どもの体力向上事業に活用出来るか？
- ④ 登校支援プロジェクトの中身や課題を問う。
- ⑤ 動物ふれあい事業を幅広く事業展開しては？
- ⑥ 大規模な学童クラブは、分散・分割すべきでは？
- ⑦ 土地開発前に遺跡の全体像をつかむべきでは？

歳入全般

質疑

- ① ホームページのバナー広告料増加の大きな要因を問う。
- ② 国分寺市・小金井市からの周辺環境整備負担金の算定根拠を問う。
- ③ 地方消費税交付金の社会保障財源化分は、生活保護や国民健康保険などの既存制度ではなく、新たなサービスのために活用すべきではないか？

総括質疑

- ① 広告塔として、市長は市をどのようにシティーセールスしていくのか？
- ② ホストシティータウン構想に、手を挙げた理由と意思を問う。
- ③ 障害者生活・就労支援センターの事業内容を問う。
- ④ 新可燃ごみ処理施設周辺環境整備のランニングコストは、市の単独負担か？
- ⑤ 市役所のペーパーレス化に対する考え方を問う。
- ⑥ 市の男性職員で、育児休暇を取得した人数を問う。

新年度予算案で、ごみ処理広域化を進める予算が計上されました。周辺住民の理解が得られていないのに手続きを次々と進めることは、決して許されません。広域化と平成31年度中の稼働に縛られる限り、第3次ごみゼロプランの市民参加による策定は、形式的にならざるを得ないという矛盾を抱え込み、総額70億円の周辺環境整備経費の積算根拠は、全くいまいかなものであること、30年後は他市に新施設を移すという覚書も、何ら担保がないことも明らかにしました。広域化の是非以前の問題として、行政が守るべき最低限の節度が失われており、断じ

10年後には、当市においても4人に1人が65歳以上の人口年齢比率となる推計が出ています。そのような将来を見据えて、行財政の健全運営、持続可能な社会保障制度の維持発展、安全・安心で災害に負けないまちづくり—これらを網羅した予算になっています。

歳出予算から、主な項目について意見を述べます。①女性の活躍を推進するため、市役所内にプロジェクトチームが立ち上がりました。女性の視点からの細やかな政策立案を期待します。②産業の立地強化策と安定した雇用の確保を図ることで、税収入につながる基盤が確立されることを高く評

平成27年度一般会計予算に対する、各会派の総括意見の要旨です。なお、無党派議員(2人)の賛否表明は、賛成1人、反対1人でした。

賛成

将来を見据えた予算。市民の期待に応えよ！

公明党

放課後充実事業を評価します。引き続き、小規模保育、認定こども園の設置に積極的に取り組んでいただきたい。⑤屋内運動場の非構造部材の耐震化が全校で実施されることを評価するとともに、通学路に順次防犯カメラの設置を深める拠点とす。引き続き、小規模保育、認定こども園の設置に積極的に取り組んでいただきたい。⑤屋内運動場の非構造部材の耐震化が全校で実施されることを評価するとともに、通学路に順次防犯カメラの設置を深める拠点とするよう期待します。⑧健康長寿のために、多くの市民が利用できる遊歩道の早期実現を要望します。加えて、疾病予防のための検診事業が重要で、受診率向上に向けた、商工会と協働の新たな試

民の理解を深める拠点となるよう期待します。⑧健康長寿のために、多くの市民が利用できる遊歩道の早期実現を要望します。加えて、疾病予防のための検診事業が重要で、受診率向上に向けた、商工会と協働の新たな試

⑩地域に密着した防災力向上への取り組みを要望します。⑫まちづくりマスタープランは、50年後を見据えて誰もが住み慣れた地域で生き、看取られる暮らしの実現に資するものになるように期待します。

反対

行政の節度が問われているごみ広域化の暴走

日本共産党日野市議団

て認める訳にはいきません。新年度予算に反対する最大の理由は、ここにあります。

次に、市政の重要な課題を6点に絞って指摘します。①早急に待機児をゼロにする手だてを講じること、学童クラブの施設増設や指導員の配置を求めます。②介護事業所と障害者施設の報酬引き下げに対し、実態把握と必要な独自支援に踏み出してください。③貧困対策では、SOSを発信しやすい環境を充実させ、公的住宅の確保、家賃補助を求めます。

最後に、新年度以降市

助などの具体策を求めます。④学校トイレの改修は、まったなしです。また、学校図書館への司書配置も積極的に取り組んでください。⑤市内に2割ある交通空白地域の解消、デマンド型タクシーの導入をはじめ、公共交通の抜本的な充実を求めます。⑥財政調整基金が目標を大幅に超える50億円に及ぶとのこと。過度なため込みは是正し、暮らしを守る自治体の本分を踏まえた財政運営を求めます。

政に問われることについて、3点提起します。①地方創生とは何か。大規模化や集中化ではなく、地域ごとの顔が見えるコミュニティの再生を進めるべきです。②民主主義・住民自治の原則に照らして、ごみ処理広域化を立ち止まり、再考してください。③戦後70年平和事業に関して、事業の土台は憲法でなくてはなりません。戦争の真実を知り、平和の尊さを学び合う、事実根拠に基づいた平和事業が進められることを願います。